



勝手に

通信簿

議員になる際(令和5年4月)の公約・政策に対して、議員として行動した2年強の進捗度・実現度を自分なりに振り返り、評価しました。

01

理想の議会を目指します

コロナの終息とともに、住民と議員の対話機会が増え、新人議員を中心とした連携と行動力により議会改革や広報活動などを具現化することが出来ました。理想の姿に必要な「個の力と組織力」をさらに高め、住民に信頼される議会を目指します。

評価



(良)

02

直面する課題に取り組めます

一般質問や日々の議員活動の中で直面する課題に取り組みましたが、テーマの偏りと内容の質に物足りなさを感じています。2年間の経験を生かして行動の質を高めます。

評価



(可)

03

3つの充実と3つの展望

3つの充実『町の活性化対策』



3つの展望『次世代のための展望』

直面する課題目標(5年以内)
中期的な課題目標(10~20年)
長期的な課題目標(20年超)

2年間で評価するのは難しい公約なので保留とします。『3つの充実』は活性化策として揺るがないものですが、その実現のためには、不安を取り除く情報提供(教育)と将来を語り共有する(夢・希望)ことが不可欠だと感じています。

評価



(保留)

残り任期の目標・決意表明(令和7年5月~令和9年4月)

- ・副議長として、議会をより一層盛り上げていきます。
- ・社会文教常任委員として、環境・教育・福祉などにも専門性を高めていきます。
- ・議会広報編集委員長として、引き続き広報や広聴活動を展開していきます。
- ・議会改革実行委員長として、望ましい議会に近づけるよう尽力します。
- ・公約を実現するように、日々精進します!



牛山吉彦はあなたの貴重なご意見をお待ちしています!

【事務所】〒399-0214 富士見町落合9656-23 (富士見台)

【TEL】090-7000-3079 【MAIL】ushiyama.yoshihiko@gmail.com

WEBサイト



Facebook

第1号
2025年9月発行

牛山よしひこ通信 ぼ

皆様のご支援をいただき富士見町議会議員になって2年半が経とうとしています。「還暦での初当選」まさにゼロからのスタートであり無我夢中の毎日でしたが、任期前半の活動実績報告および自己評価と、後半に向けての意気込みをお伝えいたします。

主な議会活動(令和5年5月~令和7年4月)

総務経済常任委員会(副委員長)

議案審査(書簡部署の議案)、議員視察(所管事務調査)、勉強会、意見交換会など

議会広報編集委員会(委員長)

『議会だより』の制作・発刊、Facebookの立上げ・配信、子ども議会見学会など

この2年間の議会活動の中心は議会広報編集委員長としての任務でした。

- ①「議会だより」を多くの町民に読んでもらい、
 - ②町民の皆さんに町政に興味を持ってもらい、
 - ③「議会だより」が町民の声を町政に届ける重要なツールとして活用してもらえるよう、
- 様々な工夫に挑戦してきました!

主な工夫

- 本会議(定例会・臨時会)の採決結果をイラストに
- 委員会審査などをQ&A形式で簡潔に
- 議会だよりは可能な限り簡潔に、HPやYoutube等と連携
- 議会Facebookを立上げ、多様な発信

議会だより改善後



議会だより改善前

議会改革実行委員会(委員)

議員間対話の増加、議員報酬の見直し、デジタル化の検討など

コロナ禍明けも手伝って様々な議会改革に取り組むことが出来ました。

特に議員報酬の見直しは喫緊の課題であり、委員会主導で議員毎の調査後に一定の方向性を示したにも関わらず、委員会としての継続検討を中断する事態となったため議員2名によるプロジェクトチームを立上げて検討&報告書作成後、再び議会改革実行委員会での継続検討を実現しました。

定例会や臨時会での議案審査、その他活動などは議会HPや議会だよりでご確認ください

議会HP



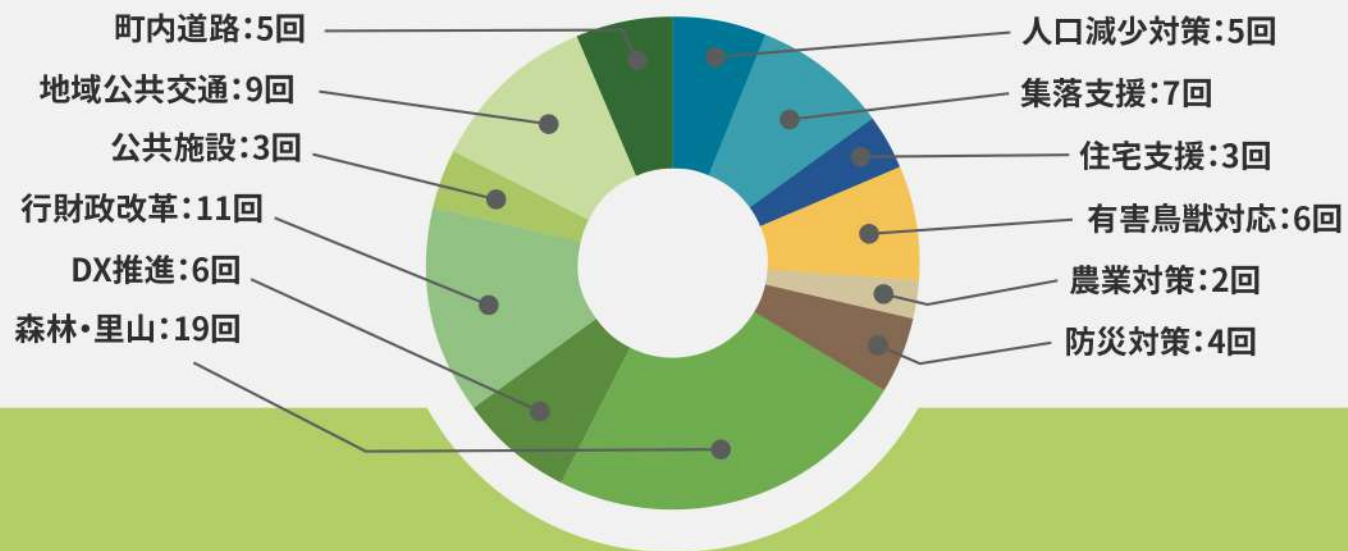
議会だより



一般質問とその後 (令和5年5月～令和7年6月)



一般質問は全定例会(年4回開催:計9回)でそれぞれ3つずつの質問を行いました。各質問に対して3つ程度の具体的な要旨を問うているため、これまで80の質問を行い、それらをテーマ別に集計すると以下の円グラフになります。主な質問内容と町の回答やその後の進展についてご報告します。



森林整備・里山整備

R7.3月
一般質問動画



町の7割を占める森林は、富士見町が誇る自然の土台であるにも関わらず放置されたり管理が行き届かなかったり無関心だったり、結果として災害や環境、有害鳥獣など様々な課題の要因になっているのが現状です。護るべき森林・里山の整備や利活用に早急に取り組むべきと多くの質問をしました。

Question (R5.9月)

過去の災害や開発などによる環境変化を防災ガイドブックに反映し、ゾーニングに活用したり防災意識を高めたりできないか？

Answer

防災ガイドブックは県の調査結果が反映されているが、市町村の意見も反映できるので災害リスクが高いと思われる箇所を進言可能。過去の災害等は地区防災マップに掲載している。

After

50~100年を見据えた森林行政には林務だけでなく環境や土壌などの広範囲な知識や所有者との交渉力など、専門性とコミュニケーション能力に長けた人材が必要です。町単独もしくは八ヶ岳西麓など広域でのフォレスター導入に向けて、引き続き多方面から働きかけます。

Question (R7.3月)

町職員の負担軽減や長期的視点の森林づくりのためにフォレスター(森林総合管理士)を町単独ではなく近隣自治体と連携して導入すべきでは？

Answer

フォレスターは森林のマスタープラン作成と実現、所有者や林業事業者との合意形成が主な業務であることから、富士見町が森林整備を効率的に進めていく上では大変有用な制度であり、専門家の招聘だけでなく集落支援員制度も1つのアイデアとして研究したい。

行財政改革

R6.12月
一般質問動画



入札制度や予算査定・事業見直し、コンサル契約形態、人事制度など町職員の付加価値を高める施策や縦割り行政の撤廃などに向けた質問が中心でした。

Question (R6.12月)

余力を付けるためには事業仕分けが必要では？また、事業仕分けの内政化は効果があるのか？

Answer

予算編成を行う際の課長ヒアリングや予算査定での財政チェック、最終的な事業説明など段階を踏んで事業仕分けを行っている。事業仕分けは『行財政改革』の一つだと考え、まずは内部の自浄能力を高めていく。

After

住民との協働による事業仕分けは岐阜県可児市や高森町などの事例があり、それぞれ成果をあげているため、引き続き先進事例などを調査研究しながら、富士見町に合った事業を提案していきます。

地域公共交通

R6.9月
一般質問動画



富士見町らしい地域公共交通の姿を描き具現化するため、議員視察などの情報も参考に質問しました。

Question (R6.9月)

誰もが自家用車に頼らず町内を移動できる富士見町の地域公共交通に向けての町の取り組みは？

Answer

定時定路線のコミュニティバス実証運行は町民の期待が非常に大きい。またトヨタの取り組んでいる「ハーフデマンド」も情報交換しながら研究したい。

After

時代に逆行した施策とも思える定時定路線コミュニティバス実証運行は町の重要施策として始まり、賛否両論ありながらも2年間の実証実験を行いました。しかしながら、町民が参画した事業になっている印象は薄く、もっと丁寧に進めるべきだと思い継続して働きかけていきます！

西麓議連の立上げと活動 (令和6年10月～)



R7.2.11 長野日報

メンバー

地域の課題解決のためには、1自治体に留まらず近隣自治体による広域での対応が不可欠です。

茅野市・原村・富士見町で構成される

「八ヶ岳西麓共生会議」に対峙するため、議員有志による議員連盟を立上げて活動を開始しました。(R7.4月～)

部会

環境、観光、農林業、子育て・教育、福祉、産業振興の6部会